

令和 6 年度の事業報告書
令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 大分環境カウンセラー協会

1 事業の成果

令和 6 年度は以下の事業を実施した。

(1) NPO 法人大分環境カウンセラー協会主催 研修会・環境調査等

会員相互の研修と環境省環境カウンセラー・大分県環境教育アドバイザーの育成や他のネットワークづくりを目的とし、協会会員および協会関係者による自主事業（室内講座）を実施した。

(2) 全国環境月間行事

大分市環境展に出展

- ・大分市内の河川に生息する微生物を顕微鏡で観察
- ・微生物や大分市に生息する鳥類の写真を展示する
- ・バードコールを作って、鳥と親しむ方法を知る 等を行った。

(3) OEC 野外研修会 大野川探鳥会【共催事業】(バードウォッチング)

大野川探鳥会は、毎奇数月第 2 日曜日に実施される事業である。主催団体は（公財）日本野鳥の会大分県支部であるが、当協会メンバーの専門分野での貢献にも期待され、主催団体に連携・協働する共催団体として平成 27 年 1 月より継続的に参画してきた。

本年度も 5 月第 2 日曜～翌年 3 月第 2 日曜にかけて、毎奇数月に年 6 回実施した。

(4) 県営都市公園里山利活用推進事業（委託事業）

本事業は、大分県土木建築部、大宣と連携・協働して、大分スポーツ公園内の里山林などの里山環境を保全するために、大分スポーツ公園里山保全活動業務委託の事業形態で実施した。

本事業の目的は、大分スポーツ公園建設に伴う「里山保全対策」における ①保全効果を把握するための環境モニタリング調査、②補足的な保全活動（保全・再生箇所の維持支援活動を含む）、③保全に対する理解の輪を広げるための普及活動を、環境の専門家や NPO 法人との連携・協働で実施するものである。

今年度も大分県土木建築部、大宣、日本文理大学等の多様な立場による実践でほぼ達成できたと評価している。

(5) 鳥類調査事業（大分県内の環境保全を 目的にした鳥類調査事業）

今年度は、支出予算を縮小するためにも、大分県内の各事業への予算請求でなく、大分全県のおもに水辺環境に関する鳥類調査全般に貢献する事業として実施してきた。

(6) 「里山再生モデル林」活用事業 （「南の国のイーハトーブ」創生事業①）

国東市の安岐川の支流・荒木川上流域に位置する社会福祉法人（障がい福祉）「三角ベース」所有の放置里山林を、OEC および日本造園修景協会県支部との連携・協働により、5 年の歳月をかけて「里山再生モデル林」にした。これまで培ってきた信頼関係に基づき、その活用事業の準備活動を行った。

(7) エコライブラリー創設事業（「南の国のイーハトーブ」 創生事業②）

国東市の「三角ベース」との連携・協働事業により培ってきた信頼関係から、令和 3 年度から「三角ベース」施設内に「環境図書館」を創設することができた。今年度は、荒木川河口バードウォッチング普及事業と、また、上記施設利用者対象のバードウォッチングと連携して「環境図書館」を有効活用することで、これまでに活躍してきた多様な人材を有機的につなげる支援事業として実施してきた。

(8) 国東市・荒木川河口探鳥会事業【共催事業】(「南の国のイーハトーブ」創生事業③)

本事業は、宮沢賢治の“生命観・宇宙観・故郷観”を踏まえた“流域単位の持続可能な故郷づくり”を実践する地元の荒木川流域プロジェクト実行委員会との連携事業の一環として、4月第2日曜から翌年2月第2日曜にかけて、毎偶数月に年6回実施した。また、6月以降は、協会主催事業として展開を行った。

(9) 国東市をはじめとする学校教育・社会教育の支援事業（「南の国のイーハトーブ」創生事業④）

今年度も、OAB主催による県内の小学生対象の社会教育事業や、大分県立三重総合高校やAPUなどの学校教育事業との連携をめざした、環境教育に関する社会教育・学校教育の支援事業を実施してきた。

(10) クマタカの生態・保護 情報の収集整理事業

今年度も、昨年度に引き続き、その希少なクマタカの過去の詳細な調査資料（佐伯市在住の瀧本氏所有）を整理するとともに、この情報に基づいたクマタカの生態・保護を理解して頂ける普及啓発テキスト（配布対象：限定重視）「クマタカ物語（案）」を作成する支援事業を実施してきた。この事業は今年度で終了する。

(11) 大分川河道内樹林対策事業

（大分川流域をはじめとする県内一級河川における河道内樹林対策検討委員会）

2020年7月豪雨等の水害以降、大分川流域をはじめとする大分県内河川の河道内樹林が半ば一方的に伐採される傾向が、特に水害のあった大分川流域で目に余る状況となっている。そこで、治水の重要性を考慮しつつも、河川環境の生物多様性をいかに保全していくか、昨年度に引き続き、本年度も実態調査と先進事例に基づいた本来管理のあり方の検討および提言内容を途中まで実施したが、国交省や大分県の担当部署にする要望書を提出するまでに至らなかった。したがって、この事業はとりあえず今年度までとし、機会を観て、再開する可能性を残したい。

(12) 水質浄化対策事業（大分市・裏川放水路における水質浄化作戦事業）

かつて自然な川だった裏川は、3面コンクリート張りの放水路となったため水質が悪化となったが、平成22年までに河川環境整備が行われ、悪臭もなくなり生物多様性の増加も見られた。しかし、2本の支流（殿川・七歩川）や周囲の住宅や工場から排水が流れ込み、水質悪化やヘドロ堆積が著しく裏川公園にふさわしくない状態となっている。

そこで、令和3年度からアクアリフトと言う水質改善剤を用いた水質浄化作戦を展開しているが、ヘドロの堆積や支流の汚れが激しく、活動の効果があまり見られないので、令和6年度後半から「EM菌団子（水質改善剤）」も投入して、改善への努力を重ねているところである。

(13) 大型風力発電対策検討事業

近年、県内に複数の大型の風力発電事業計画が持ち上げってきた。風力発電事業にもメリットはあるが、事業の完成には、山々の尾根伝いにおける大規模土壌掘削や森林破壊、景観の変貌は免れないし、土砂災害や土壌汚染、ミサイル防衛阻害などの可能性もより大きくなる等のデメリットもある。そのため、大型風力発電事業における客観的なメリット・デメリットに関する研修会や、直接工区の住民への普及啓発を実施した。

今年度は、関西電力が計画している大型風力発電事業が他の事業者と比べて民主的な手続きをおろそかにしている傾向があったため、この工区内の地元住民による反対運動も起こった。そのため、環境配慮に関する知識に関する内部研修会を途中まで実施したが、代表者がお亡くなりになったため、この内部研修会も中止となった。そのため、この事業についてはとりあえず今年度までとし、機会を観て、再開する可能性を残したい。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の金額 (単位:千円)
環境保全のための社会啓発及び環境教育の推進に関する事業	(1)NPO 法人大分環境カウンセラー協会主催 研修会・環境調査等	(A) 令和6年6月2日(日) (B) 大分市東部公民館 (2階視聴覚室) 大分市 坂ノ市公民館 (2階 第3研修室) (C) 4名	(D)一般市民 会員 (E)約15名	0
	(2) 全国環境月間行事 (大分市環境展に出展)	(A) 令和6年6月1日(土) (B) 大分市竹町ガレリア竹町ドーム広場 (C) 3名	(D)一般市民 会員 (E)不特定多数	5
持続可能な社会のための環境保全と循環型社会形成の推進に関する情報、資料の収集、助言、支援、出版事業並びに調査研究に関する協働事業	(3)OEC 野外研修会 大野川探鳥会【共催事業】(パードウォッチング)	(A) 令和6年5月12日(日) 7月14日(日) 9月8日(日) 11月10日(日) 令和7年1月12日(日) 3月9日(日) (B) 豊後大野市三重町 菅生石仏 駐車場 へ大野川河川 (C) 2名	(D)一般市民 会員 (E)約20名	16
	(5)鳥類調査事業 (大分県内の環境保全を目的にした鳥類調査事業)	(A) 令和6年8月31日(土) 9月15日(日) 9月26日(木) 10月1日(火) 12月28日(土) 令和7年1月25日(土) (B) 高島、佐賀関半島 (C) 3名	(D)当該事項の研究者等 (E)不特定多数	50
	(6) 「里山再生モデル林」活用事業 (「南の国のイーハトーブ」創生事業①)	(A) 令和6年10月21日(火) 10月28日(月) 10月29日(火) 11月19日(火) 令和7年2月12日(水) 3月18日(火) (B) 国東市安岐地区の荒木川上流域里山林 (C) 2名	(D) 当該事項の研究者等 (E)不特定多数	15
	(8) 国東市・荒木川河口探鳥会事業【共催事業】 (「南の国のイーハトーブ」創生事業③)	(A) 令和6年4月7日(日) 6月9日(日) 8月11日(日) 10月13日(日) 12月8日(日) 令和7年2月9日(日) (B) 国東市・荒木川河口 (C) 3名	(D)一般市民 会員 (E)約20名	18
	(10) クマタカの生態・保護 情報の収集整理事業	(A) 令和6年12月28日(土) 令和7年1月6日(月) 1月12日(日) 2月1日(土) (B) 佐伯市瀧本氏宅および周辺 (C) 3名	(D) 当該事項の研究者等 (E)不特定多数	16
	(12) 水質浄化対策事業 (大分市・裏川放水路における水質浄化作戦事業・ (その3))	(A) 令和6年7月22日(月) 10月17日(木) 12月21日(土) 令和7年1月16日(木) (B) 大分市・裏川放水路 (C) 2名	(D) 当該事項の研究者等 (E)不特定多数	36

環境保全型・防災型まちづくり推進のための啓発助言、調査、企画、設計に関する事業	(11) 大分川河道内樹林対策事業（大分川流域をはじめとする県内一級河川における河道内樹林対策検討委員会）	(A) 令和7年1月28日(日) 2月26日(水) (B) 大分市・大分川流域 (C) 3名	(D) 当該事項の研究者等 (E) 不特定多数	6
	(13) 大型風力発電対策検討事業	(A) 令和6年7月20日(土) 10月13日(日) (B) 大分県内の打合せ会場 (C) 2名	(D) 当該事項の研究者等 (E) 不特定多数	5
行政、学校、環境ボランティア、市民団体等との環境パートナーシップの形成支援事業	(7) エコライブラリー創設事業（「南の国のイーハトーブ」創生事業②）	(A) 令和7年1月16日(木) 1月26日(日) 2月9日(日) 2月17日(月) 3月20日(木) (B) 国東市安岐地区の荒木川下流域・三角ベース施設 (C) 3名	(D) 当該事項の研究者等 (E) 不特定多数	32
	(9) 国東市をはじめとする学校教育・社会教育の支援事業（「南の国のイーハトーブ」創生事業④）	(A) 令和6年12月27日(金) 令和7年1月16日(木) 2月6日(木) (B) 宇佐市立津房小学校、国東市をはじめ大分県内の小・中・高校生 (C) 2名	(D) 当該事項の研究者等 (E) 不特定多数	27
諸外国、環境省、経済産業省、国土交通省、農林水産省並びに県、市町村等の行政機関とその関係機関や関係団体からの環境保全に関する協働事業及び受託事業	(4) 県営都市公園里山利活用推進事業（大分県受託事業）	(A) 令和6年8月26日(月) 12月7日(土) 令和7年2月5日(水) 3月21日(金) (B) 県営スポーツ公園 (C) 3名	(D) 当該事項の研究者等 (E) 不特定多数	770

■ 令和6年度は以下の事業は行っていない。

- ・ 自然再生並びに自然とのふれあいによる農業、林業、漁業との調和に関する事業
- ・ 地球温暖化防止に関する情報支援、資料の収集、出版及び実践調査に関する受託事業
- ・ 「環境カウンセラー制度」の普及啓発に関する協働研修育成事業

■ その他事業は行っていない。

令和6年度 活動計算書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

特定非営利活動法人 大分環境カウンセラー協会

(単位:円)

科	目	金	額
I	経常収益		
1	受取会費		
	正会員、準会員、入会金	95,000	
	賛助会員受取会費	0	
	未収会費	20,000	115,000
2	受取寄附金	135,000	135,000
3	受取助成金等	0	0
4	事業収益		
	(1)NPO法人大分環境カウンセラー協会主催研修会	0	
	(2)大分市環境展への出展	8,600	
	(3)OEC野外研修会「大野川探鳥会」	0	
	(4)県営都市公園里山利活用推進事業	770,000	
	(5)鳥類保全モデル事業	0	
	(6)里山林保全モデル事業(南の国のイーハトーブ①)	0	
	(7)エコアグリラー創設事業 (南の国のイーハトーブ②)	0	
	(8)国東市・荒木川河口探鳥会事業	0	
	(9)国東市をはじめとする学校教育・社会教育支援事業	0	
	(10)クマタカ情報収集整理事業	0	
	(11)大分川河道内樹林対策事業	0	
	(12)水質浄化対策事業	0	
	(13)大型風力発電開発における対策検討事業	0	778,600
5	その他収益		
	受取利息	23	
	雑収入	0	23
	経常収益計		1,028,623
1	事業費		
	(1)人件費		
	人件費計	0	
	(2)その他経費		
	謝金	335,000	
	賃借料	0	
	材料費	0	
	旅費交通費	112,700	
	消耗品費	102,125	
	印刷製本費	210,000	
	保険料	2,400	
	通信費	15,600	
	事務用品費	52,000	
	会議費	109,471	
	事務局費	60,000	
	その他経費計	999,296	
	事業費計		999,296
2	管理費		
	(1)人件費		
	人件費計	0	
	(2)その他経費		
	通信費	4,892	
	会議費	0	
	事務用品費	0	
	事務局費	60,000	
	その他経費計	64,892	
	管理費計		64,892
	経常費用計		1,064,188
	当期経常増減額		-35,565
III	経常外収益		
1	固定資産売却益	0	
	経常外収益計	0	0
IV	経常外費用		
1	過年度損益修正損	0	
	経常外費用計	0	0
	税引前当期正味財産増減額		-35,565
	法人税、住民税及び事業税		0
	当期正味財産増減額		-35,565
	前期繰越正味財産額		215,884
	次期繰越正味財産額		180,319

令和 6 年度 貸借対照表

(令和 7 年 3 月 3 1 日現在)

特定非営利活動法人 大分環境カウンセラー協会

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	160,319		
会費未収金	20,000		
流動資産合計		180,319	
2 固定資産			
(1)有形固定資産			
有形固定資産計	0		
(2)無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3)投資その他の資産			
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			180,319
II 負債の部			
1 流動負債	0		
流動負債合計		0	
2 固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		215,884	
当期正味財産増減額		-35,565	
正味財産合計			180,319
負債及び正味財産合計			180,319

令和6年度 財産目録

(令和7年3月31日現在)

特定非営利活動法人 大分環境カウンセラー協会

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
手元現金	39,525		
郵便貯金	120,794		
未収金	20,000		
流動資産合計		180,319	
2 固定資産			
(1)有形固定資産			
有形固定資産計	0		
(2)無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3)投資その他の資産			
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			180,319
II 負債の部			
1 流動負債	0		
流動負債合計		0	
2 固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			180,319